

# 点検調査から見えてきたこと

令和元年10月1日

山手学院高等学校  
時乗 洋昭

# 本日の発表内容

- (1) 問題提起
- (2) 点検調査での指摘事例

# 問題提起

- 学校現場は、ガイドラインの理解が必ずしも十分ではないのではないか。
- 所轄庁は、ガイドラインに基づく通信制高等学校への指導・監督を一層強化すべきではないか。

# 点検調査での指摘事例①

## ● 面接指導

- 個々の生徒の状況を考慮せず、視聴代替による面接時間の8割減免を前提としたカリキュラムになってしまっていること。
- 個別指導を重視して1人1人の生徒の実態を十分把握し、計画的に体系的に指導すべきこと。 等

## 点検調査での指摘事例②

### ● 添削指導

- 十分確保すべき添削指導の回数が不足していること。
- 正誤のみの指摘が大半で、解説の伴わない添削指導が行われていること。等

## 点検調査での指摘事例③

### ● 教育課程

- 連携施設を、実施校の一部であるかのように誤解させていること。
  
- 実施校の設置者は、連携施設と協力・連携を行う場合、その連携施設の設置者とあらかじめ文書による取決めを行わねばならないこと。 等

## 点検調査での指摘事例④

- 生徒支援、進路支援関係
  - キャリアカウンセラー等、進路支援体制が整っていないこと。
  - 不登校経験や中途退学を経験している生徒に対応するためのスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等が不十分であること。 等